

ゆたかな労働と 生活の場をめざして

発行: 社会福祉法人ときわ会 〒187-0032 小平市小川町2-1159番地
URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ
だより
No. 448

あさやけ作業所	小平市小川町2-1159番地	Tel. 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町2-1159番地	Tel. 042-345-1564
サンダリー	小平市小川町1-943番地	Tel. 042-345-1585
あさやけ鷹の台作業所	小平市小川町1-411番地	Tel. 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町1-944-30番地	Tel. 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町2-21-17番地	Tel. 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町5-2-11番地	Tel. 042-346-0472
地域生活支援センター「あさやけ」	小平市小川東町4-2-1番地 小平元気村おがわ東1階	Tel. 042-345-1741
共同ホーム一歩	小平市花小金井7-2-24番地	Tel. 042-349-0305
あさやけ風の作業所	小平市中島町3-8番地	Tel. 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町1-497-13番地	Tel. 042-313-6269



みんなが一番楽しみにしているのが給食です。十二時前になると何人かが食堂のガラス越しにみえています。厨房からは「まだ、時間じゃないよ。班にもどつて」と声がかかります。「給食出来ました」との電話がいくと、みんなうれしそうに作業室から飛び出して食堂へ。

お昼の給食風景

仲間紹介

ひとりひとりが太陽



今年の手紙初めに！
「優しい人」「感謝を忘れない」

大槻 智美さん
(あさやけ風の作業所)



一九八三年四月あさやけ作業所事務職員として入社してから三四年の歳月が流れました。定年を超え今日までみなさまと共にあさやけに身を置くことができましたことを光榮に思います。この三〇年間、右肩上がりの成長期から不況の時代へ、成長の陰に健康や自然の破壊、格差拡大が広がり、今日では戦後はぐくまれてきた平和への危惧、原発問題、大震災復興など更に重い課題も積み重なりました。その動きに向きあい、知恵と力を出し合って改革しようとする人々が本当に沢山居り、粘り強く信念を貫こうとする力強さに新鮮な感動を覚えます。ときわ会と障害者分野の発展も本人・家族・職員・多くの協力者の方々のこうした努力研鑽により今日を迎えているのだと感慨を深く致します。

あさやけ作業所を退職にあたって

あさやけ作業所

太田 順子

たお汁粉し。すごいよーと、一生懸命呼びに来て下さいました。「どしたの。どしたの。」と、しおれた顔で座る私に声をかけて下さる全身から優しさが伝わりました。旅先で、別行動で思うまま一人行動しながら、ふっと、オオタサーンと呼んで下さる声にいとおしさがこみ上げました。これらは私の一生の宝です。在職中の不勉強さには後悔ばかりがつのります。法の名前は次々変わりましたが、事務職の中心業務であった措置費、支援費、給付費の推移などを時系列で記録しなかった等今も心に残ります。どうか若い方々には、学習を大切になさってください。社会の中での障害者の問題、社会・地域の中でのあさやけ作業所、と現実から出発し、その現実をどうとらえるかも含め学び、自分の立ち位置を見出して頂きたいと思えます。至らぬことも含め父母の皆様にはいつも暖かくご協力頂きました。父母の介護などにもご配慮いただきながら、ご指導ご協力を頂いた職員の皆様、ありがとうございました。皆様のご健康とときわ会の一層のご発展をお祈りいたします。

学校卒業後あさやけ風の作業所に入って十年以上が経ちました。今は毎日「こすもす班」でお菓子をつくらったり、カフェでお客様にご注文の品物を運んだりする仕事をしています。智美さんのいる「こすもす班」では、今年度スコーンやビスケット、パウンドケーキなどこれまでの製品に加えてみんなで本当のパン屋さんにご教えるもらってメロンパンをつくるようになりました。パン生地をこねるとき、智美さんは仕事と意識してつい力が入り過ぎてしまうことがあります。「パン屋さんの先生に教わったように」と声をかけられると気がついてやさしくこねることが出来ます。お菓子作りや喫茶の仕事は外から見えないところにもお菓子を袋に入れたりチラシをつくらったりする仕事があります。智美さんは絵が好きだけにチラシの色塗りがとても上手です。智美さんは音楽がとても好き

です。地域の合唱団に入っています。イベントなどの時にはたくさんのお歌を披露しています。お家でも音楽を楽しんだりご家族とステージを見に行ったりすることがあるそうです。冒頭で紹介した手紙初めは、黒でしっかりと書かれていて智美さんの意志が伝わってきます。色々な人たちと働く中で、また楽しみを味わうなかで智美さんが改めて感じることなのでしようね。同じく絵画クラブで生まれた作品に、ピンクや緑を使って書いた絵にまた別のピンクで「春」という字が添えられたものがあります。そこには「ともみ」と丸みを帯びた字でサインが書かれています。こちらの絵からは、智美さんそのものの明るく伸びやかな人柄が伝わってくるようです。

あさやけ風の作業所 ペガサス班の仕事を紹介します これが「採便管入れ」と「シール貼り」だ!!

3. どんな風にやっているの？

仕事には、やる人それぞれのやり方があります。自分のやる分をしっかりと確保してからやる人、きれいに並べて始める人。



立ってやるスタイルの人。



器用に枠に入れながらやる人。



袋を閉じる担当もいます。



入所したての新人さんは他の道具を使つての練習です。

10年以上続けている人もいて、ベテラン職人のような人も大勢います。最後は職員が点検して箱に入れ完成！いよいよ納品します。



作業所の利用者は、取り組める仕事や内容が限られてしまうのですが採便管とシール貼りの仕事は工程がわかりやすく、みんな張り切ってやっています。

最初は難しくても、作業を補助する道具を使ったり、繰り返していくうちにできるようになった人もいます。

ちょっとした工夫で、出来なかったことが出来るようになったり、何回も繰り返すうちに自分だけの力で出来るようになったりとみんなゆっくりゆっくり小さく歩んでいます。小さなことを繰り返し積み上げながら生活しています。

「今日も1日仕事がんばるぞー！」の声が作業所に響きます。

1. 採便管って何？

ペガサス班では「採便管入れ」という仕事をしています

採便管は、あさやけ風の作業所が設立した2003年の開所当時から行っている仕事です。以前からある、あさやけ鷹の台作業所で行っていた仕事を引き継ぎました。

採便管とは、その名の通り検便検査に使用するキットです。袋、管、シールの部材があり分担作業で完成させます。



2. どんな作業なの？「シール貼り」と「採便管入れ」

まず黒い袋にシールを貼ります。

部材は100単位になっていて、袋100枚に、シールを100枚用意して始めます。ここでのポイントはシールを右下よりにまっすぐ貼る事です。はみ出したり、曲がったりしないように貼るのは結構難しいのですが、みんなきれいに貼れるようになりました。たまに袋が多かったり足りなかったりしたときは、職員にちゃんと教えてくれます。



次にこのシールを貼った袋に管を入れます。

管は上下が決まっています同じ向きに1本ずつ入れ、ジップの口を閉じて出来上がりです。

卒業する夜間支援 アルバイトの皆さんから

一步には夜間支援アルバイトの方がいます。多くは大学生なので、今年も卒業で3月に一步を離れる人がいます。3人の方に夜勤者として一步にかかわった感想を寄せてもらいました。(一部はホームで発行している「一步新聞」から転載させていただきました。)

共同ホーム一步

卒業、 おめでとう!

暮らしを担う一步での貴重な体験

一步には、あさやけ作業所での実習を縁に紹介していただき、昨年4月から夜勤者として働かせてもらうことになりました。一步では、主に入浴介助、就寝・起床介助、事業所へ出発する準備を行う他、一緒にご飯を食べる、お話をするなどして利用者の方と過ごしていました。夜勤をする中で、介護の技術や障害に対する知識など様々なことを学ぶことができました。特に作業所等では見られない入居者の別の姿を見ることができ、貴重な体験をさせてもらえました。また、利用者が日常生活をする上で、「暮らし」を担うグループホーム等の生活の場がどれだけ重要であり、大変なのかを知る機会となりました。

至らぬ点多かった私ですが、丁寧に接してくれた職員の方々、入居者の方にはとても感謝しています。一步で得た知識や技術などの経験をこれからも活かしていきたいとおもいます。

玉手 善政さん

皆さんのお話が楽しかった

私は、椎名さんが通っている、あさやけ作業所で実習をしていた繋がり、このアルバイトをはじめました。一步の好きなところは、たくさんお話できることです。センターや作業所の今日の出来事や、金曜担当なので、週末に何をしておすごすのかなど、ご飯を食べながら、お風呂に入りながら、たくさんお話するのが、とても楽しいです。特に、泉さんの片思い?の話は、いつも面白いので、こちらからよく質問しています。(笑) それぞれ生活するなかで、大変なこともあると思いますが、そういった面をサポートしたり、良き話し相手になったりすることで、入居者の皆さんの一步での生活を少しでも楽しくて、暮らしやすくすることが出来ていたらいいなあと思います。

黒澤 奈々さん

美味しいご飯を楽しみに

一年生の終わりの頃から、このバイトを始めて早三年。月日の早さを実感しています。2月いっぱいでは一步は卒業になります。春からは大田区の出雲小学校というところで、四年生の担任を持つことになりました。出雲小学校には、特別支援学級があり、そこにいる子供たちと、触れ合う度に一步での経験を思い出すでしょう。これまで一步では、食卓やお風呂場で、利用者や職員のみなさんとお話することや、美味しいご飯を楽しみに、毎週通っていました。雰囲気の良い職場でアルバイトできてとても良かったです。これから都心に住むことや、仕事が始まることに不安もありますが、最後に泉さんに勇気付けられた言葉で締めくくります。「人生、楽しいのは、これからだよ。」

石郷岡 菜さん

利用者の健康を支えるとりくみ

あさやけ作業所

リハビリ用のバーを設置

あさやけ作業所には、慢性的な運動不足・障害に起因する癖のある身体の使い方が習慣化して身体に負担がかかってきている、などの問題を抱えている所員が大勢います。

運動の大切さはわかっている、



リハビリバー

わかっているけれど始めるのは本当に難しい。けれど、何とかしなくてはという思いが高まりました。

毎月訪問してくださっている、東京小児療育病院の田口理学療法士に相談したところ、「スクワット」がよいとのこと。正しい姿勢で行わないと効果が半減してしまうので、姿勢保持のためにバーが必要ということになり、ポランテアの中島さんに設置を依頼しました。身体状況に個人差があるので、三種類の高さのリハビリ用のバーが昨年十一月にできあがりました。温かみのある木製のバーは、寒い日でも握る手が冷えません。

三日坊主になるのではないかと、物干し竿になってしまおうのではないかと、毎日自らスクワットに励んで

いる所員がいます。声がかかると笑顔で運動を始める所員がいます。これからも試行錯誤を重ねて、手軽に楽しく、そして長く続けられる運動の輪を広げていくよう取り組んでいきます。

歯科検診から口腔リハビリまで

口腔内を清潔にすることは虫歯予防にも、誤嚥性肺炎の予防にも大切なことと言われて久しいです。小平保健所では平成八年から障害者施設での歯科保健に関する連絡会議を作ったよう活動に取り組み始めていたようです。あさやけ作業所では、昨年の七月からみその歯科診療所の協力を得て、月二回の歯科衛生士の口腔ケアを、そして十二月から口腔リハビリも開始しました。

食べることが健康を維持するために最も大切です。食べられるための機能が衰えてしまったりは食べることがうまく出来ません。嚥んで吞み込むことの機能を維持回復することが重要です。会話がうまくできないと口を動かす筋肉が衰える、舌の動

きがうまく機能しないことで、食物をうまく転がして食道に送り込めません。また抜けた歯を長い間放置しておくことで、舌が偏ったり、口腔内が変形したりして、咀嚼機能や嚥下がうまくいかなくなります。その為に始まったのが機能回復のための口腔リハビリです。日常の中でも、家庭でも気軽に、楽しく取り組める口腔リハビリを目指して進めていきたいと考えています。



口腔リハビリ



風のスクーン

CAZE CAFEの看板商品スクーンは、外はサクッ！中はフワッ！と焼きあがっています。定番のくるみやいちじく、季節商品として春はよもぎ、秋の栗やかぼちゃのスクーンが人気です。

価格：プレーン100円、くるみ・いちじく・ココア・チョコチップ150円

ご注文・問い合わせは電話 042-349-2366

〔カフェ情報〕 営業時間：4月～10月/10時から16時 11月～3月/10時から3時
毎月第三土曜日10時から14時30分営業 定休日/水、土、日、祝日

あさやけアートフェスティバル2017

今年も日ごろ制作している作品をたくさん発表します。みなさんのお越しを心よりお待ちしております。

日時 6月30日(金)～7月4日(火) 開催時間は次号でお知らせします

会場 ルネこだいら展示室 同時開催 CAZE CAFE なかまち (なかまちテラス内)

問い合わせ先/ 042-346-2167 あさやけ園の台作業所 西浦まで

廃品回収のお知らせ

2月の廃品回収の回収量は10,470kgでした。内訳は新聞7,970kg、雑誌・ダンボール2,500kgです。収益は小平市の資源回収補助金も含めて154,620円でした。

次回は4月15日(土)が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。